

## 平成 30 年度第 1 回大口町高齢者サービス調整会議

日時：平成 30 年 6 月 8 日(金)

午後 1 時 30 分～2 時 45 分

場所：健康文化センター1 階 機能回復訓練室

### 1 あいさつ 課長

介護保険料が改訂される。当町の保険料は全国 11 番目に安い。  
サービスの充実に努めるが、一番大切なことは健康第一である。

### 2 議題

(議長) 第 7 次計画始まり、皆さんの協力は不可欠。各々の立場でご発言ください。

(1) 平成 29 年度高齢者福祉施策の実績及び平成 30 年度見込みについて

(学識経験者)：協力員どのような相談が多いか？対応困難なケース内容は？

(高齢者福祉協力員代表)：15 名で活動している。介護者、単身の方様々。話し相手がおらず、協力員の訪問で 30 分話すこともある。各々厳しい状況の中頑張っている。涙が出る。何とかしてあげたいと思いで訪問している。年に 3 回慰労品を配布し、喜ばれている。

(2) 平成 29 年度介護保険事業の実績について

(学識経験者)：在宅のうち有料等入所せず自宅で生活している方は何人いるか？

(事務局)：本日お見せできる資料ない。次回報告する。

(議長)：P.2 未収納額減少している。原因は？

(事務局)：生活状況を確認し、平成 29 年度より催告書・差し押さえ書の通知をはじめ、収納に至ったケースもある。分納誓約としている。

(議長)：支払わない理由は？

(事務局)：支払い忘れであったり、介護を利用しないと言う方もいる。

(事務局)：1%未満は多重債務者である。税の徴収を先行する。

(委員)：納付されない方は？

(事務局)：滞納者は利用料 3 割になり増額課せられる。

(江南保健所)：特に意見ない。

(介護保険施設代表)：未納の方いるが、現場では意識は薄れ回収不能金出ている。粘り強く関係と絶たないことが重要と考えている。

(介護保険施設代表)：利用者にとって自己負担 1 割でも支払いが滞っている方はいる。未納だがサービス止められない。滞納者が 3 割負担になるのはさらに厳しく、支払いは厳しい。ケアマネとして不安が強い。

(介護サービス利用介護者代表)：介護者としてサービスはありがたい。支払ってでもサービスを受けたいと思っている。

(介護サービス利用介護者代表)：長い期間、在宅で恩恵を受けている。1 割の自己負担額で

サービスを受けられることありがたい。

(老人クラブ連合会代表)：サービスを受ける当事者とし、よくやってくれていると思う。

(議長)：よく努力し、事業を行ってくれている。

(委員)：介護保険料が低いのはなぜ？要因は？高齢者施策の中で力を入れていることはなにか？

(事務局)：地区活動や健康づくりに力を入れており、その結果認定者が少ない。

(議長)：認定率低い要因は？

(事務局)：おまもりとしての(必要のない)認定を受ける人が少ない。介護が必要になり認定を受けている。

(議長)：地域性もあるのか？

(委員)：要介護状況になり、子世帯のいる都市部へ転出していると聞く。大口町は元気で長生きだと思う。

(委員)：小さな町特有のコミュニティーへのフォロー素晴らしい。単身で 85 歳前後の方は在宅が難しくなるが、大口町の住宅環境は恵まれている。また、生活困窮者は虐待やネグレクトに繋がるケースが多い。サポートが重要である。

(3) 平成 29 年度大口町地域包括支援センター活動のまとめ

意見なし

・大口町地域資源マップの紹介：数年後更新していく。各世帯配布はない。ホームページにアップしている。

・尾張北部権利擁護支援センターについて：別紙チラシで紹介。